

うしくでびっくり!

りんごがりのまき

NO32



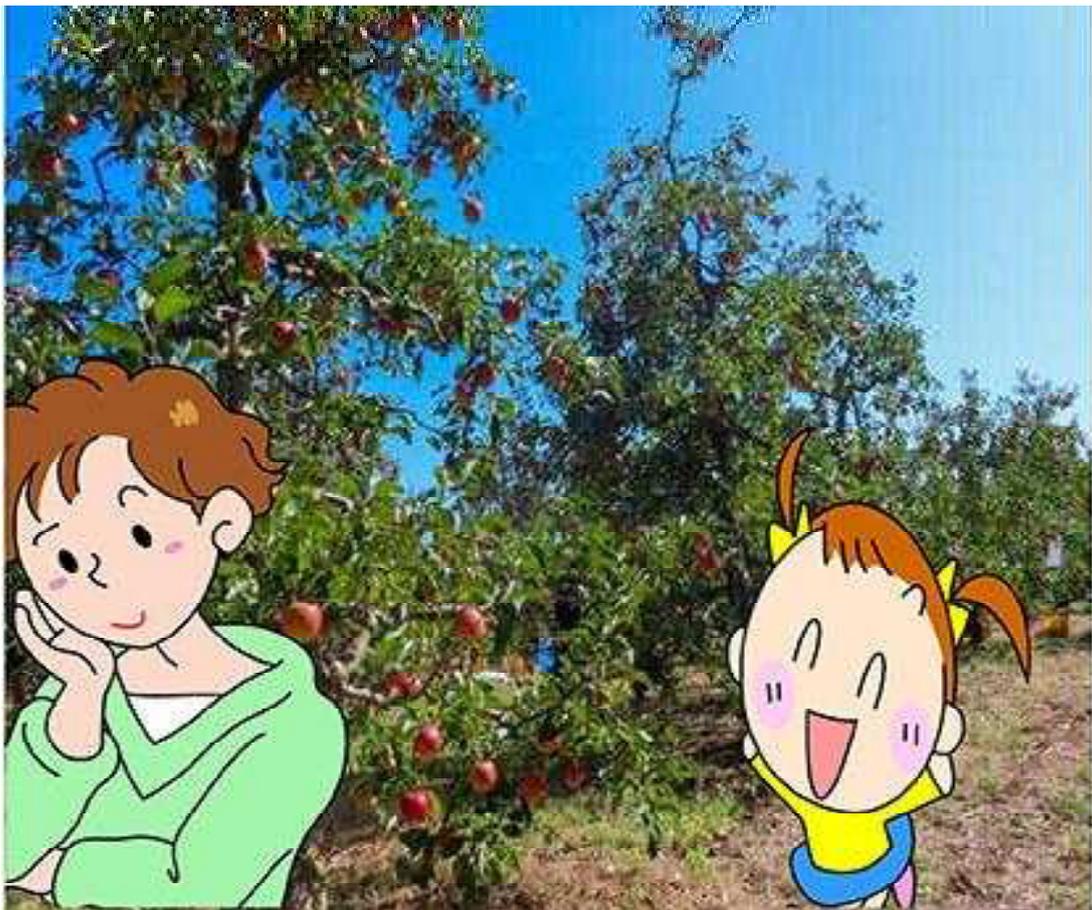
おくの地区社協
ぶん.え いいだ あきお

あるあきのひのこと。
なっちゃんが、おかあさん
としまだをさんぽしていると
「わー、りんごだ。
おいしそう！」



と なっちゃん。

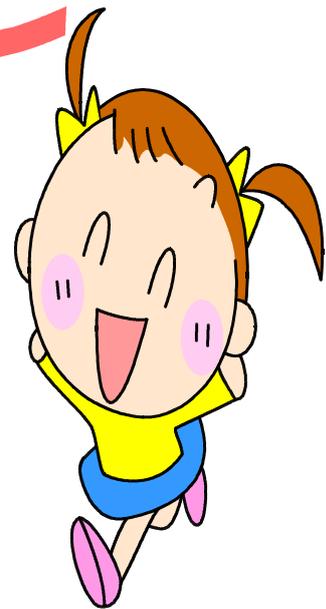
「おかあさん、ここでなにが
はじまるの？」
と きくと、
「ん～」
かんがえこんでしまった。



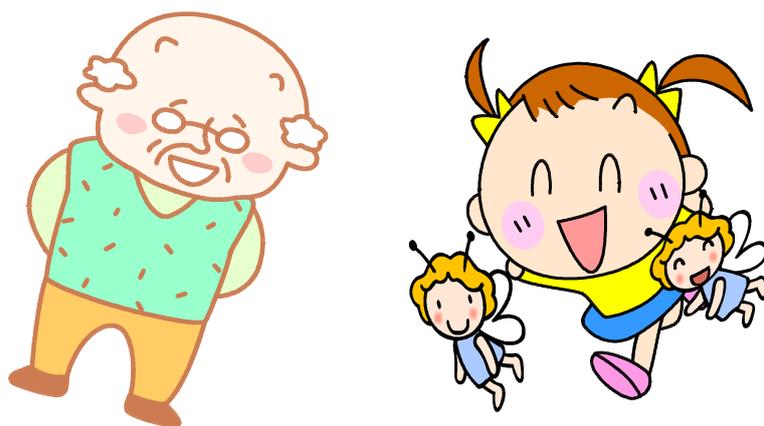
「あ、そうそう。もしかして、
りんごがりかな？ くわしい
ことは、おじいちゃんに き
いてみれば」

「そうか、よーくきいてみよ
う」

わくわく
どきどき



そのとき、ようせいがあらわれて、おじいちゃんのところにつれていってくれた。



なっちゃん、ものをよく知っている おじいちゃんが、だーいすき。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？



わたしは、なぜなぜでーす。

おじいちゃんに きいてみると

おしえてくれたよ。
「ここで、りんごがりが、は
じまるんだよ」

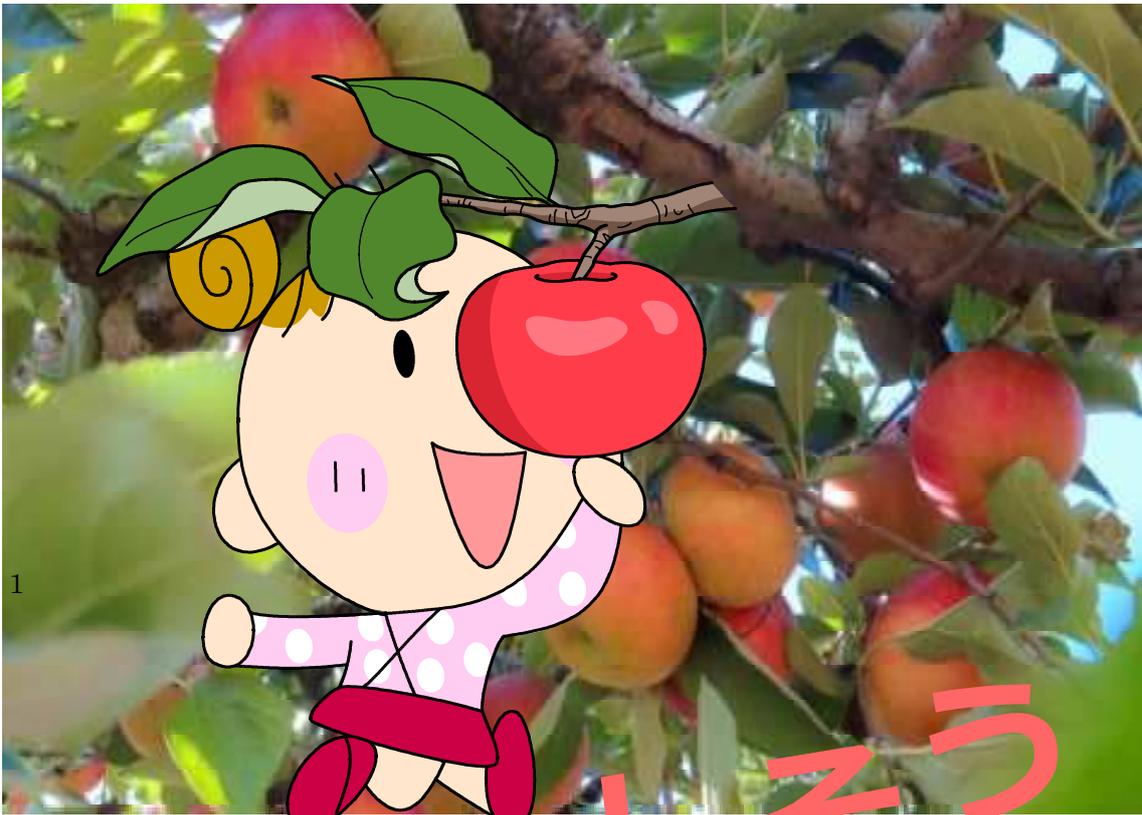
へー
びっくりに!

りんごがりって
なーに？



「ん～、そうだな。たくさん
りんごがなっているきから、
おいしそうなりんごをもぐこ
となんだよ。

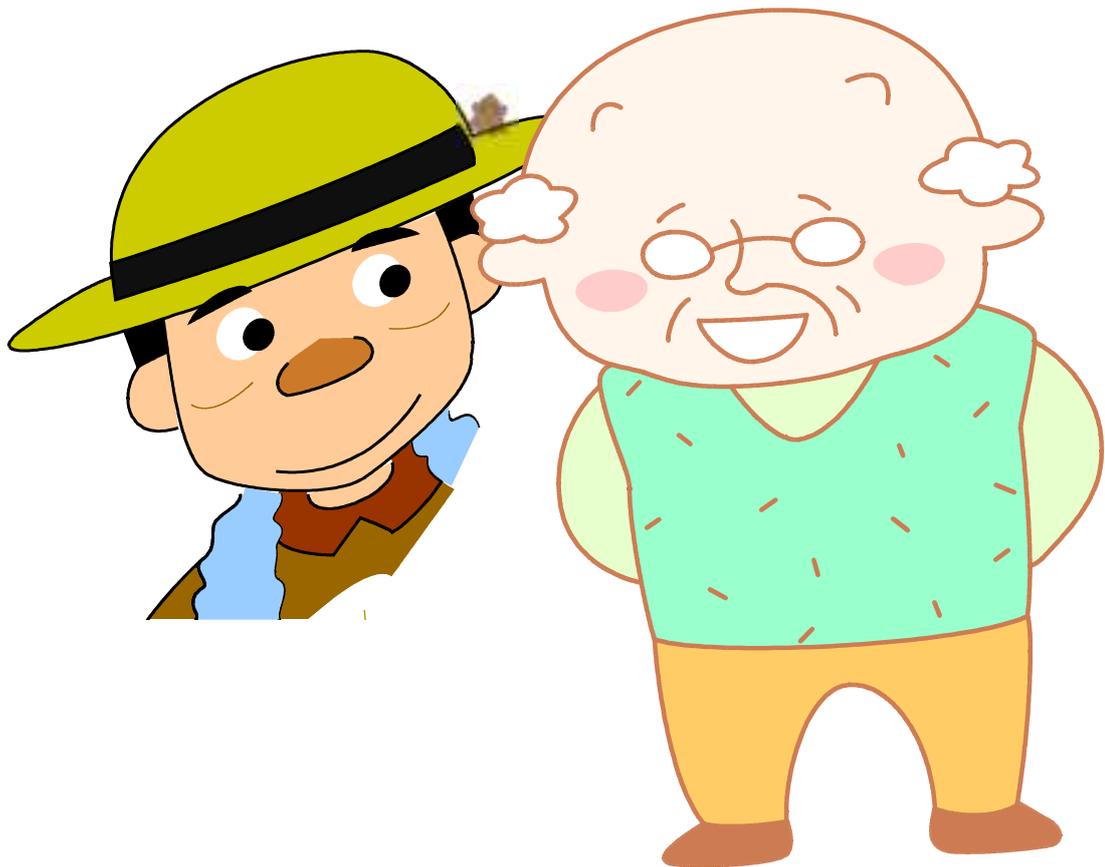
へ～

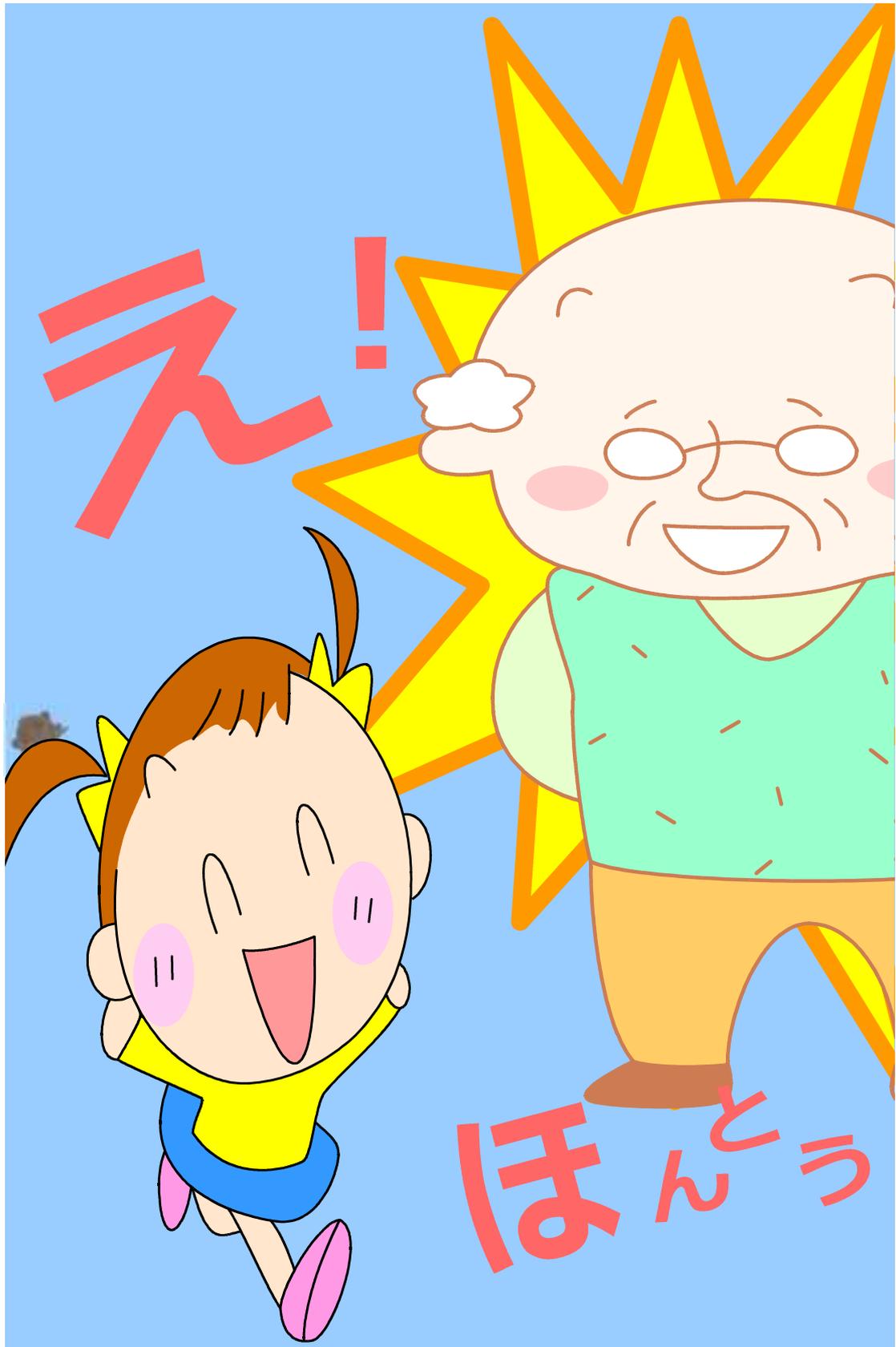


たのしそう
やってみたい!

くわしいことは、りんごえ
んのながぬまさんにきいてみ
ようか。

いっしょにいってあげるよ。





やくそくのひ。おじいちゃん
んとながぬまさんのりんごえ
んにいった。

おじいちゃんは、ようじが
できて すぐにかえった。





なっちゃん、ゆうきをだして、「りんごがりをやらせてください。」とお

ねがいました。ながぬまさんは、しゅうかくじきよてい

品種	8月			9月			10月			11月			12月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
さんさ															
津軽(つがる)															
ファーストレディ															
シナ/ドルチェ															
真王(まおう)															
紅玉(こうぎょく)															
秋晴(あきばえ)															
學生(がくせい)															
陽光(ようこう)															
アルファ乙女															
シナ/ゴールド															
高徳(こうとく)															
はるか															
名月(なげつ)															
あけ竹の雪村															
ふじ															

「いいよ」といって、りんごばたけにつれていっ
てくれた。
(ここで、りんごがりのしゅるいとじきをまとめてみたよ。)

※開花時期により収穫時期が前後するので、表はあくまで目安にしてください。
悪気印は収穫量が少いため、予定より早く販売終了する可能性があります。

りんごえんの いりぐちか
らみると、きにりんごが

いっぱい

いっぱい

なっていた。



なかにはいると・・・



またまた

びっくり!

たくさん たくさん
りんごがなっていた



ここにも





ごごにも



たくさん

おいしそうな
りんごが

なつていたよ

きょうは
あきばれ



にほんばれ!



りんごがりびよりだ



さあ、りんごがりの はじまりだ！



でもこまった
どんなりにぶを



むげばいいの？



そのとき

「こんな りんごを もげば
いいんだよ」

と、ながぬまさんがおしえて
くれた。

その1

しっかりあかく いろづいた、
はりのあるりんごをえら
ぶといいよ。

あかくいろ
づいている
りんごは、
たいようの
ひかりをた
くさんうけ
ているんだ。



その2

おしりで えらぶといいよ。

おしり
が ふか
くくぼん
で、かた
ちがよい
ものをえ
らぶとい
いよ。



その3

おもさで えらぶといいよ。

みためだけでなく、おもさもたいせつだよ。

おもいということは、かじゅうが、たっぷりのしょうこ。しっかり、てにとってえらんでみてね。

よーし、わかった。
もぐぞ！



これが、いいかな？

あれが、いいかな？

りんごをもいでいると・・・

あれあれ、

しろいひ
もが、はっ
てあること
に きがつ
いた。この



ひもは、どうしてはってある
の？

ふしぎにおもって、きいて
みた。

すると

「よーく、きがついたね。りんごがりが、ながいあいだ（8がつ～11がつ）できるようにやく30しゅるいのりんごをつくっているんだ。だから、いまいちばんおいしいりんごのきをひもでかこっているんだよ。」



ちなみに いちばん、はや
くみになるのは、さんさ。
いちばんおそくなるのは、
ふじかな」



「きょうの たべごろのりんごは、ひものなかなんだ」

「よーし、どれにしようかな？」

また、さがしはじめた

これがいいかな？



まよっちゃう！？

これも、おいしそうだ！

これがいいかな？

いろよし おしりよし おもさよし。



よーし
これにしよう！

ぱっくん

ぱっくん

もいでみた

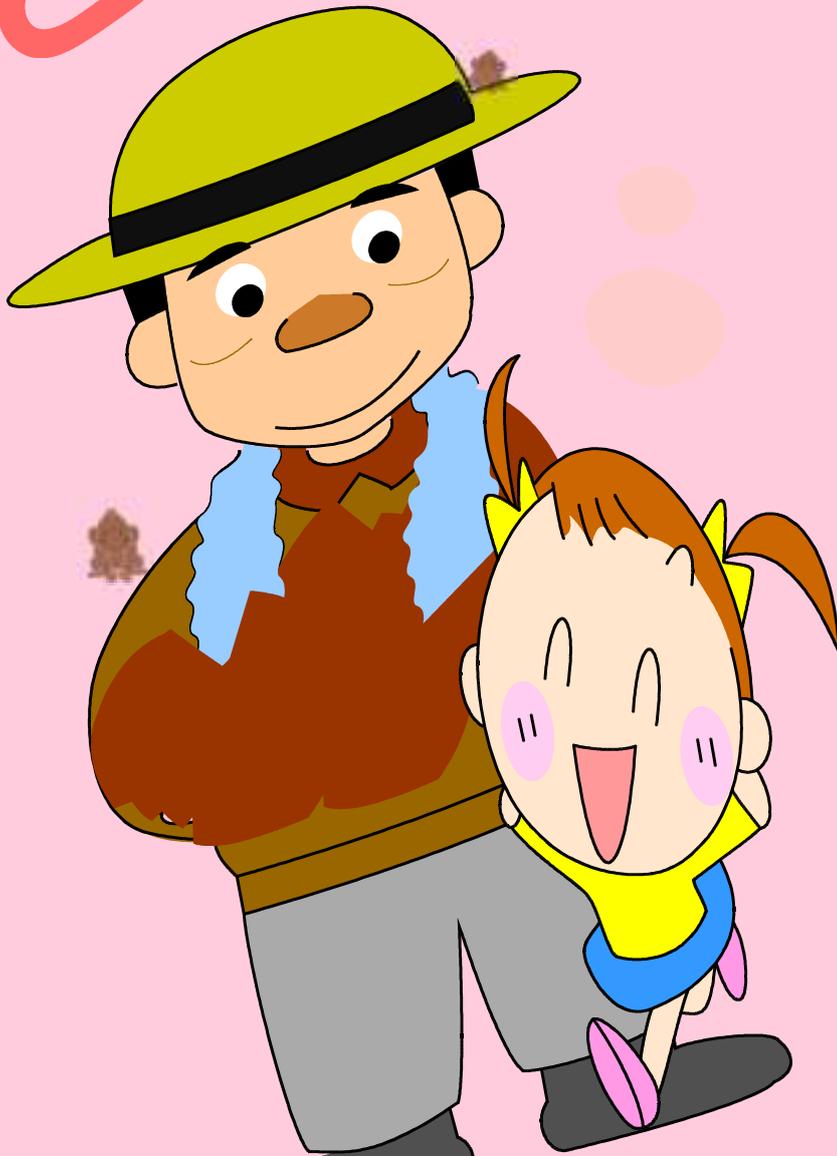


いいりんごだ！



ながぬまさんに おれ
いをいって・・・

どういたしまして



ありがとうございました

かえって、おじいちゃんに おしえてあげたよ。



「よーく、しらべたね」

えらい えらい

と めになみだをうかべ
て、よろこんでくれた。

なっちゃん、おもわず
にっこり。

もいできたりんごをたべてみた。

「あ、おいしい！」

「おいしい」

と みんなおおよろこび。

なっちゃん、さむいところではかできないりんごがりが、おくので、できてびっくり！

しかも おいしいりんごがたべられて、またまた

びっくり！

こうして、なっちゃん
は、ながぬまりんごえん
が、おくののたからもの
だということが、よーく
わかった。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。



またね